

# 若年層の投票率 向上に向けた取組 事例集

---

2026年3月

# 事例 2025年度

---

1. 選挙啓発ポスターコンテスト（事務局）
2. 名取市キャラクター総選挙～市町村選管との連携（尚絅学院大学）
3. 選挙啓発動画の制作（尚絅学院大学）
4. 大学講義における主権者教育①（宮城教育大学）
5. 大学講義における主権者教育②（宮城教育大学）
6. 大学講義における主権者教育③（宮城学院女子大学）
7. 大学における選挙カフェ①（聖和学園短期大学）
8. 大学における選挙カフェ②（尚絅学院大学）

# 1. 選挙啓発ポスターコンテスト

## 取組の成果

- 3大学から8点の応募があり、審査会で最優秀賞1点、優秀賞2点を選定した。
- 最優秀作品は宮城県知事選挙における選挙啓発ポスターとして作成し、県内市区町村の街頭掲示板に掲出された
- 表彰式の様子は、複数のメディアに取り上げられ、知事選啓発に寄与したほか、同世代の若年層への啓発効果があったものと考えられる。

## 概要

- 学都仙台コンソーシアム加盟機関学生を対象とした選挙啓発ポスターデザインコンテスト。
- 募集期間  
6月26日～9月3日
- 審査会 in尚絅学院大学  
9月5日
- 表彰式 in尚絅学院大学  
9月17日



# 2. 名取市キャラクター総選挙 ～市町村選管との連携

## 概要

- 名取市選挙管理委員会と尚絅学院大学の連携事業。
- 選挙啓発の企画立案と実践@宮城県知事選挙in 名取と題し、参加学生を募集し、5名の学生が参加

### 第1回企画会議（8月22日）

- 講話 選挙制度について
- ワークショップ①なぜ若年層の投票率が低いのか
- ワークショップ②投票率向上企画

### 第2回企画会議（8月29日）

- 講話 選挙運営について
- 期日前投票所・開票所見学
- 企画会議

## 取組の成果

- 10月13日に、イオンモール名取でイベント「あなたの推しは？」名取市キャラクター総選挙を実施した。
- 将来の有権者である未成年者を対象として、模擬投票イベントを企画した。
- 300票以上の投票があり、未成年者並びに保護者の選挙への意識向上に寄与した。
- 当日の様子は複数のメディアに取り上げられ、波及効果もあった。



# 3. 選挙啓発動画の制作

## 概要

- 尚絅学院大学で映像の制作方法や表現方法を学び、社会の中で映像メディアを活用する実践を行うゼミの学生が制作した。
- 宮城県選挙管理委員会の方々と選挙カフェを開催し、選挙のしくみや若者の投票率などの課題について学び、模擬投票を行なって、選挙への理解を深めた。
- 他の自治体や教育機関で作成された選挙啓発動画についても分析を行ない、どのようにメッセージを伝えると効果的か考え、アイデアを出した。

## 取組の成果

- 宮城県知事選挙を前に、3本の選挙啓発動画を制作し、大学のHP及びSNS（インスタグラム）で公開。
- 制作の課程を通じて、大学生自身が政治参加や社会参画について主体的に考える契機となった。

1. 自分にマッチする相手が見つかる?!
2. 税が見える
3. 他人任せにせずに投票へ行こう



# 4. 大学講義における主権者教育①

## ～宮城教育大学公開講座

### 概要

日時：12月8日 16:20～17:50

参加学生：42名

- 将来社会科教師を志す学生を対象にして、「『合意形成』と『政治的決定』について：身近な問題から考える・議論する」と題した公開授業を実施。
- 現在の主権者教育では「投票すること」が目的と化し、日頃の政治参加やリテラシー、自己と社会の関係性の視点が欠落しているという問題がある。それを踏まえ、学生が「自分が関与することで何かが変わる」という政治的有効性感覚を養う意識づけを行った。

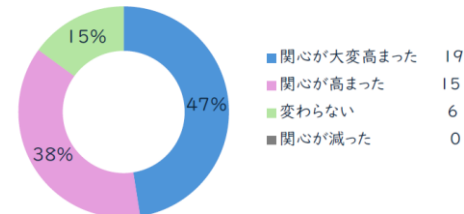
### 講義内容

1. 現代の主権者教育の問題点について
2. 「合意形成」と「政治的決定」について
3. グループディスカッション「観光公害（オーバーツーリズム）」
4. 発表・まとめ

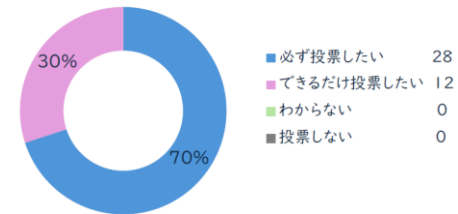
### 取組の成果

- テーマについて異なる意見を取りまとめる経験を新鮮なものとして評価する声や、選挙に際して立候補する側の視点を考える機会を評価する声が多く挙げられた。

Q.選挙への関心は変わりましたか (n=40)



Q.今後選挙で投票したいと思いますか (N=40)



# 5. 大学講義における主権者教育② ～宮城教育大学公開講座

## 概要

日時：12月15日 16:20～17:50

参加学生：47名

- 将来社会科教師を志す学生を対象にして、「主権者教育の課題：論争問題の考え方・政治的中立性を考えよう」と題した公開授業を実施。
- 主権者として選挙に行こうとする意識、社会科教師として論争問題への意識を高めることをねらいとした。

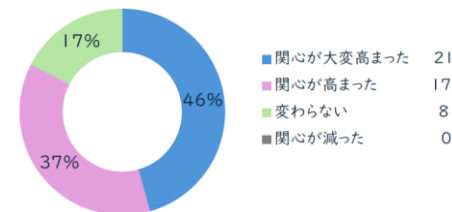
## 講義内容

1. 問題意識の共有
2. 被教育体験の省察
3. 主権者教育に関する調査結果の認知
4. 自己効力感の省察
5. 政治的中立性の再考
6. まとめ

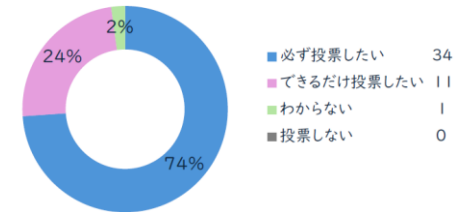
## 取組の成果

- 政治に関する授業観が変わったと評価する声や、主権者として政治参加への意識が高まったとの意見が挙げられた。

Q.選挙への関心は変わりましたか (n=46)



Q.今後選挙で投票したいと思いますか (N=46)



# 6. 大学講義における主権者教育③ ～宮城学院女子大学

## 概要

日時：11月17日 14:40～16:10  
参加学生：14名

- ジェンダー論の授業内で、宮城県選挙管理委員会事務局の方を講師に迎え、「選挙とジェンダー論！？」と題したゲスト講義を行った。
- ゲスト講義を受けて、教員主導でグループワークを行い、主権者としての問題意識について話し合いを行った。

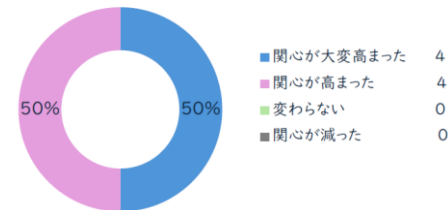
### 講義内容

1. 趣旨説明
2. ゲスト講義「選挙とジェンダー論！？」
3. グループワーク「あなたが議員なら、税金をどこに優先して使う？」
4. 模擬投票

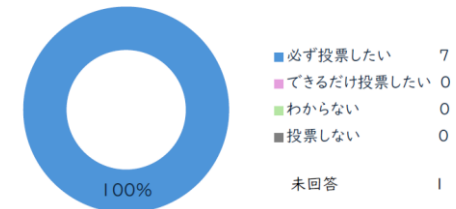
## 取組の成果

- 参加者の3/4が投票経験があったが、主権者としての政治参加への意識のさらなる高まりがみられた。

Q.選挙への関心は変わりましたか (n=8)



Q.今後選挙で投票したいと思いますか (N=8)



# 7. 大学における選挙カフェ① ～聖和学園短期大学

## 概要

日時：12月4日 15:30～16:30

参加学生：23名

- 選挙カフェと題し、軽食や飲み物を用意しながらリラックスした雰囲気の中で、政治や選挙について話ができるイベントを実施した。
- 宮城県選挙管理委員会事務局よりクイズを交えながら話題提供を行い、その後2つのテーマについて自由に話し合いを行った。

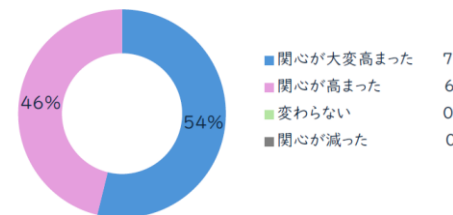
### イベント内容

1. インタロダクション
2. 選挙クイズ
3. ディスカッション「どうして若者の投票率は低いのか」
4. ディスカッション「選挙の情報は何ので得る？」
5. 発表・まとめ

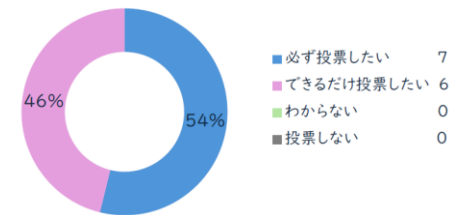
## 取組の成果

- 参加学生に選挙を身近に感じさせる機会となるとともに、活発な意見交換が行われ、学生の意識啓発につながった。

Q.選挙への関心は変わりましたか (n=13)



Q.今後選挙で投票したいと思いますか (n=13)



# 8. 大学における選挙カフェ② ～尚絅学院大学

## 概要

日時：5月29日 14:30～16:00

参加学生：18名

- 軽食と飲み物を用意しながらリラックスした雰囲気の中でイベントを実施した。
- 宮城県選挙管理委員会事務局より選挙の意義や重要性について講話があったほか、クイズを交えながら話題提供を行い、その後若年層の投票率が他の世代と比較し、低迷している現状について、グループディスカッションを行った。

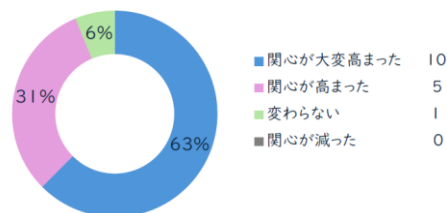
### イベント内容

1. イントロダクション
2. 選挙クイズ
3. 講話①選挙のキホン
4. 講話②選挙のホト
5. 模擬投票
6. ディスカッション「どうして若者の投票率は低いのか」
7. 発表・まとめ

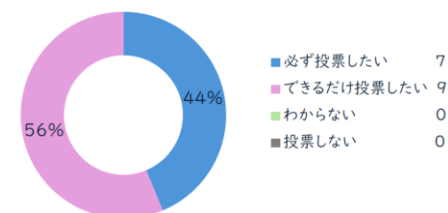
## 取組の成果

- 学生からは「候補者の選び方」や「オンライン投票」についての意見が寄せられるなど、投票することの重要性を認識し、主権者意識の向上につながった。

Q.選挙への関心は変わりましたか (n=16)



Q.今後選挙で投票したいと思いますか (n=16)



# 事例 2024年度

---

1. 大学講義における主権者教育①（宮城教育大学）
2. 大学講義における主権者教育②（宮城教育大学）
3. 大学における選挙カフェ（聖和学園短期大学）
4. 大学における主権者教育ワークショップ<sup>o</sup>（尚絅学院大学）
5. 複数大学の学生によるカフェトーク（学都仙台コンソーシアム）

# 1. 大学講義における主権者教育① ～宮城教育大学公開講座

## 概要

日時：11月18日 16:20～17:50

参加学生：30名

- 社会科教師を志す学生を対象にして、「18歳選挙に関わる高校生と大学生の政治意識について」と題した公開授業を実施。

## 内容

1. 導入
2. アイスブレイク：若い世代の政治意識についてディスカッション
3. 講義：政治教育の観点から高校生と大学生の政治意識調査結果
4. グループディスカッション
5. 発表・まとめ

## 取組の成果

- 参加学生からは、税や国の制度を段階的に学ぶなかで意見形成をしていく重要性を認識したとの意見があった。
- その他にも、情報を疑う習慣づけからメディアリテラシー教育を行う、学級委員など集団的意思決定の経験から社会問題に視野を広げていく、など様々なテーマでの教育プランの発表があった。



# 2. 大学講義における主権者教育② ～宮城教育大学公開講座

## 概要

日時：11月25日 16:20～17:50

参加学生：18名

- 社会科教師を志す学生を対象にして、「『合意形成』と『政治的決定』について身近な問題から考える・議論する」と題した公開授業を実施。

## 内容

1. 講義 主権者教育の課題
2. グループディスカッション「オーバーツーリズム」
3. 発表・まとめ

## 取組の成果

- 現状の主権者教育が、単に投票に行くことだけを求められているところに疑問を持ち、より日常的に政治参加し、リテラシーを持つこと、若者が政治的効力感を実感することの大切さなどについて話された。
- グループディスカッションを通じて、身近な問題解決にも主権者としての意識が必要であると認識を深めた。



# 3. 大学における選挙カフェ ～聖和学園短期大学

## 概要

日時：12月13日 14:30～15:25

参加学生：16名

- 選挙カフェと題し、軽食や飲み物を囲んだリラックスした雰囲気、政治や選挙について話ができるイベントを実施した。

## 取組の成果

- ディスカッションでは、「男女で投票率は異なるのか」「オンライン投票はできないのか」など率直な意見が多く出された。
- 参加学生に選挙を身近に感じさせる機会となり、学生の意識啓発に繋がった。

## イベント内容

1. イントロダクション
2. 選挙に関する基礎知識講座
3. グループディスカッション
4. 発表・まとめ



# 4. 大学における主権者教育 ワークショップ～尚絅学院大学

## 概要

日時：2月3日 13:00～16:05  
参加学生：33名（他大学1名含む）

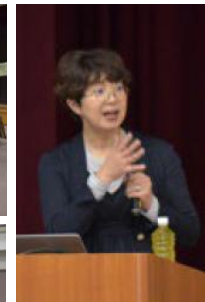
- 主権者として地域の課題に関心を持ちきっかけとして、地域で活躍するゲスト2名を迎え、農山村と都市部のかかわり方を考えるワークショップを実施した。

## イベント内容

1. オープニング
2. 講演①若者が地域社会とかかわるといこと～都市側
3. 講演②若者が地域社会とかかわるといこと～農山村側
4. アイスブレイク 大沢大文字音頭
5. ワークショップ 地域の魅力を生かすには
6. 発表・まとめ

## 取組の成果

- 学生ならではのユニークなアイデアが多数提案され、身近な問題を自分事として考えるきっかけとなった。



宮城県選挙管理委員会 学都仙台コンソーシアム共同事業



### 私たちが農山村とかかわるために ～酒田と名取の交流から考える～



講座・ワークショップ  
『私たちが農山村とかかわるために～酒田と名取の交流から考える～』

日程 2月3日(月) 場所 尚絅学院大学 多目的ホール  
13:00～16:00

ゲストスピーカー 若者が地域社会とかかわるといこととは？  
川原綾子さん 東京都在住。コピーライター/東京農業大学学生  
阿部彩人さん 山形県酒田市在住。合同会社「COCOSATA」代表、  
『酒田やわた未来会議』(仮称)運営

お申込み ※申込締切:2025年1月31日(金)正午 申込はこちら  
対象:学都仙台コンソーシアムの大学の学生/尚絅学院大学の学生  
方法:右記二次元コードより申込フォームにアクセスし、ご入力ください  
<https://forms.office.com/r/255d5Z3y2>

【お問合せ】  
尚絅学院大学 交流推進課 ☎022-381-3315 ✉koryu@shokei.ac.jp

# 5. 複数大学の学生によるカフェトーク ～学都仙台コンソーシアム

## 概要

日時：2月14日 14:00～16:00

参加学生：12名（3大学の学生）

- 正解を求める教育が若者の投票行動を阻害しているのではという問題意識から「選挙に正解はない!？」と題し実施。
- 複数の大学の学生が政治や選挙について自由に話し合いを行った。

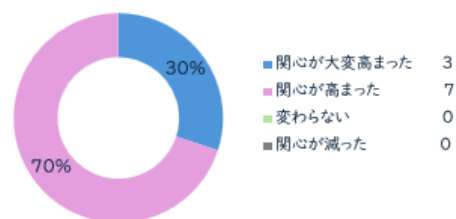
## イベント内容

1. イントロダクション
2. 学生による地域連携活動事例紹介
3. 選挙クイズ
4. グループディスカッション発表・まとめ

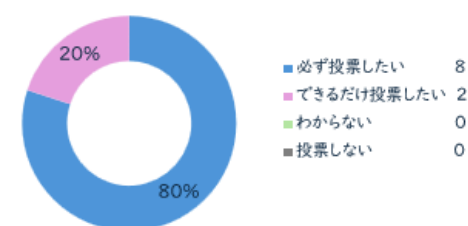
## 取組の成果

- コンソーシアムでの公募により、選挙・政治への関心が高い学生が多く集まり、活発な議論が行われた。

Q.選挙への関心は変わりましたか (n=10)



Q.今後選挙で投票したいと思いますか (n=10)





---

**〈お問い合わせ先〉**

**宮城県選挙管理委員会事務局**

**電話：022-211-2343**

**メール：senkyo@pref.miyagi.lg.jp**

**〈受託事業者〉**

**尚綱学院大学（学都仙台コンソーシアム事務局校）**